

■ 策定にあたって

北九州モノレールは、平成27年1月に開業30周年を迎えた。この間、安全・正確・快適な運行を行い、市民の足としての役割を果たしてきた。

その一方で、車両・施設等の老朽化による設備投資や修繕費の大幅増などにより、平成23年度以降、3期連続での赤字を計上し、今後の見通しについても厳しい状況である。

そのため、経営基盤の強化は早急の課題であり、事業環境の変化、対処すべき経営課題を踏まえた新たな「中期5か年計画」（平成27年度～31年度）を策定したものの。

■ これまでの経緯

- ・開業（S60.1）当初より、輸送人員が予測を大幅に下回り、赤字経営が続く
- ・JR小倉駅への延伸（H10.4）による輸送人員の増加等により、H10年度に単年度黒字に転換（以後、H22年度まで黒字）
- ・初期投資に伴う借入金等により債務超過状態となっていたことから、H17年度に経営改善計画（レインボープラン）を策定、各種増収・経費削減方策に取り組む
- ・近年、設備の耐用年数到来による修繕費や減価償却費の増加等により、H23年度以降3期連続で単年度赤字を計上

■ 「中期5か年計画」策定の経緯

(1) 平成25年度…北九州行財政改革大綱制定

【H25 北九州行財政改革大綱】～ 外郭団体改革について

● 北九州高速鉄道（モノレール）の今後のあり方 [概要]

「今後も厳しい経営状況が見込まれるため、応分の受益者負担等も含め、中長期の経営計画を策定し、それに基づき、経営の安定化を図る。」

(2) 平成26年度…北九州モノレール経営改善委員会設置、報告書策定

- I. レインボープランにおいて、様々な経営改善策に取り組んだ結果
【営業利益】コスト削減+運輸雑収>運輸収入の減 ⇒ 計画以上の営業収益を達成。
- II. 課題 ①今後の安定経営を図る上での収入確保
②今後、予定している設備更新にかかる費用の確保
- III. [収入増加] ⇒ 将来人口推計から、資金不足を解消する大幅な利用者増は見込めない。
[支出削減] ⇒ 開業から30年を経過しており、大規模設備更新の先送りは、安全輸送確保に支障をきたす恐れ。
収支予測において、H31年度期末現預金残高がマイナスに転じ、その後も回復の見込みがないことが判明



利用者確保に最大限努力するが、このままでは安定した経営の維持に懸念が生じるため
運賃改定（10円値上げ）を早急を実施する必要がある（約8千万円/年の増収）

(3) 平成27年4月…北九州モノレール「中期5か年計画」を策定。

(4) 計画期間…平成27～平成31年度（長期収支は平成36年まで見込む）

■ 北九州モノレール『中期5か年計画』（計画期間：平成27～31年度）

【目標】

- 輸送の安全及び定時運行の確保
⇒ 必要な設備の更新、維持管理を確実に行っていきます
- お客様の満足度向上
⇒ ICカード導入、質の高いサービス提供により、お客様満足度向上に努めます
- 旅客需要の確保
⇒ 地域と一体となった取り組みにより、旅客需要の確保に努めます
- 黒字体質への転換
⇒ 「H26 北九州モノレール経営改善委員会」報告書を踏まえ、あらゆる収支改善策を推進し、経営基盤強化を図っていきます

【主な施策】

- ①顧客サービス向上 ⇒ ICカード導入、ダイヤ改正 など・・・※1)
- ②増収・利用促進策 ⇒ 団体利用（企業、学校等）誘致活動強化、広告増収など
- ③経費削減策 ⇒ 設備更新、修繕費のさらなる削減
- ④運賃改定の実施 ⇒ 平成27年10月に10円値上げを実施（ICカード運用と同時期）・・・※2)
- ⑤リースの活用に ⇒ リースの活用（更新費用の平準化）による、投資活動キャッシュフローの改善
- ⑥国の補助制度活用 ⇒ 継続して補助要望を行い、確保に向け努力する

これらの施策に取り組むことで、今後5年間は、
H26年度の輸送人員（30,775人/日）を確保しつつ、運賃値上げを行うことで、
H31年度期末現預金残高を569百万円確保する（649百万円の改善）

※1) ICカードの導入について

設置から15年以上が経過、老朽化が原因の故障が頻発し、早期の更新が必要。
IC化により、切符を改札機にタッチさせるため、通過時間の短縮が図れ、また、改札機の簡素化により、メンテナンス費用の軽減が図れる。

- (1) 名称 「monoSUGOCA」（モノスゴカ）
- (2) 導入システム JR九州の「SUGOCA」への接続で全国相互利用可能
- (3) 普通乗車券 セキュリティ対策を施したQRコードを利用した切符（普通紙）を発売。

※2) 10円値上げについて

- (1) 実施予定日 平成27年10月1日
- (2) 改定運賃
 - ・改定額は、各区間を10円値上げ。
 - ・隣駅及び小倉駅～旦過駅間の「100円モノレール」は現行のまま据え置き。
 - ・定期券については、全ての区間において相当分を値上げ。